SAIKYO SHINKIN BANK

2023年度

2023年4月1日～2024年3月31日

ミニレポート兼
〈第107期〉事業のご報告

西京信用金庫オリジナルキャラクター
サイの京子ちゃん

地域のために この街のために そして あなたのために

西京信用金庫

ごあいさつ

平素は西京信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当金庫第 107 期（2023 年度）事業の概要につきましてご報告申し上げますとともに、謹んでご挨拶させていただきます。

2023 年度の我が国経済は、昨年 5 月に新型コロナウイルス感染症の分類が 2 類から 5 類に引き下げられたことから、社会経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調となりました。

金融経済面では、ウクライナや中東等をはじめとする地政学リスクが高まっている中で、中国経済の先行き懸念や欧米の金融引締めなど、不確実性の高い状況にあることから景気下押しリスクが高まっています。また、日本銀行が金融政策の変更を行い「マイナス金利政策」が解除されたことにより、市場金利が上昇しており、こうした動きに対するリスク・マネジメントの重要性が増しています。

このような環境の中で、信用金庫はコロナ禍の影響を受けた中小企業等への事業者支援の重要性が高まっており、ポストコロナ禍におけるコロナ融資の返済本格化を踏まえ、取引先中小企業等の販路拡大、ビジネスモデルの再構築、経営改善支援などを通じて地域のお客さまや社会が抱えている様々な課題の解決を図っていくことが求められています。このほか、金利上昇局面に備えた対応やマネー・ローンダリング対策に向けた態勢整備、サイバーセキュリティ対策の一層の強化により、経営管理態勢の充実に引き続き尽力していく必要があります。

2023 年度は、当金庫の 3 ヵ年経営計画の最終年度であり、地域経済への支援と持続可能な地域社会の実現を目指して、6 つの施策「持続可能な地域社会の実現に向けた SDGs の取り組み」、「顧客基盤の拡充」、「収益性の向上」、「効率性・生産性の向上」、「人材力の強化」、「内部管理態勢の充実」を着実に実施してまいりました。これらの施策の実施状況は次の通りです。

① 「持続可能な地域社会の実現に向けた SDGs の取り組み」については、「貧困をなくそう」、「すべての人に健康と福祉を」、「人や国の不平等をなくそう」を実現するために、長引くコロナ禍の影響等によりお困りの方々に、防災備蓄品である非常食や緊急簡易トイレ等の窓口配布を行いました。また、生理の貧困に晒されている地域の皆さまや近隣の高校・大学・児童養護施設等へ生理用品の配布も実施いたしました。

さらに、2022 年 7 月から「西京くだものの日」として、地域の子ども食堂へ季節の果物である「みかん」、「バナナ」、「すいか」、「柿」を寄贈する取り組みを実施いたしました。

また、「住み続けられるまちづくり」を推進するために、お客さまの防災対策をお手伝いしており、当金庫が東京都に提案し、採用された「金融機関提案融資『そなえ』」や 1981 年の耐震基準改定前の木造建築物を対象とした「耐震改修工事資金融資」等の防災関連融資商品を取り扱っております。

さらに、地域防災の一環として、杉並区、練馬区との連携により空家等対策に関する金融商品を開発し、空家の改修、解体費用等の融資を行っています。

これらの当金庫の取り組みは、国際的にも高い評価をいただいており、2023 年 12 月 1 日には海外視察団が来庫し、2017 年 11 月以降、延べ 98 ヵ国 154 名の海外行政機関の防災責任者の方々に、当金庫の地域防災力の向上に向けた取り組みをご説明いたしました。

事業承継に関しては、事業者の課題解決に向けた取り組みとして、本部専担部署による支援に加え、東京都の補助事業「地域金融機関による事業承継促進事業」に基づき外部専門家の取引先への個別派遣を実施し、事業承継計画の作成支援を行いました。

② 「顧客基盤の拡充」については、防災定期預金の募集に取り組んだほか、「職域サポートローン」の取り扱いにより、事業所取引および従業員取引の強化を図りました。また、人員再配置による人的資源の有効活用のため、大山支店大谷口出張所および南中野支店方南町出張所を大山支店および南中野支店へ統合、徳丸支店を北町支店へ統合、石神井台支店を大泉支店へ統合しました。今後より一層、本業支援に取り組み、顧客への課題解決を行ってまいります。

③ 「収益性の向上」については、リスク管理に留意しつつ、長期的な視点に立って価値ある課題解決策の提案やきめ細かなフォローアップを行い、地域の資金繰り支援に迅速かつ積極的に事業性評価に基づく融資推進を図っているものの、コロナ融資による資金繰り支援策が一巡したこともあり、貸出金は減少いたしました。

④ 「効率性・生産性の向上」については、不要不急の経費の削減を進めるとともに、システムの活用による事務の効率化等に取り組みました。

⑤ お客様に高度な金融サービス等を提供するための「人材力の強化」については、金融関係の資格取得を推進するとともに、高度な専門的知識を活用するために、継続教育の体制を整備し、顧客本位の営業推進活動ができるように取り組んできました。

⑥ 「内部管理態勢の充実」については、不祥事件の未然防止態勢および反社会的勢力排除のための態勢の強化に取り組むとともに、マネー・ローンダリング対策等の重要課題に対する対応強化を進めております。

これらの基盤を固めた上で、地域防災力の向上や近隣の子ども食堂に果物を寄贈するなど「持続可能な地域社会の実現に向けた SDGs の取り組み」という地域貢献策に一層注力することにより、地域社会からの信頼を確保し、地域経済と皆さまの暮らしを全力でサポートする方針であり、そのために不断の経営努力を行う所存です。

何卒、皆さま方には今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事長　北村　啓介

西京信用金庫の概要

（2024年3月31日現在）

設立	1918年11月16日
本店	東京都新宿区新宿4−3−20
出資金	25億30百万円
会員数	34,702名
店舗数	27店舗
常勤役職員数	293名
預金積金残高	6,763億13百万円
貸出金残高	3,832億13百万円

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

1. 『お客さまにとって最善の利益』を図るよう努めます。
2. お客さまの利益が不当に害されることのないように、『利益相反の適切な管理』を徹底します。
3. 『お客さまに対して、重要な情報や手数料に関しては、特段の注意を払って分かりやすい説明』をいたします。
4. 『お客さまにふさわしい商品とサービスの提供』をいたします。
5. 『お客さま本位の業務運営を実現』するために、当金庫の職員に対しての研修を強化いたします。

役員一覧

（2024年6月13日現在）

理事長（代表理事）	北村　啓介
専務理事（代表理事）	長谷川貴宏
専務理事（代表理事）	塚越　千鶴
常務理事	寺本　紀仁
常勤理事	中澤　一之
常勤理事	大神田　稔
理事（非常勤）	渡部　訓
理事（非常勤）	坂元　義明
常勤監事	江原　保徳
員外監事（非常勤）	中川　純良
監事（非常勤）	大浦　淳

1年のあゆみ

4月	● 新入職員27名入庫
4･5月	●「西京くだものの日」（第4回 バナナ）
6月	● 第74回「通常総代会」開催（西京信用金庫 本店）
7月	● 防災定期預金を販売 （販売期間　2023年7月3日～2023年8月31日） ●「東京都よろず支援拠点」対面による経営相談会を開催
7･8月	●「西京くだものの日」（第5回 すいか）
11･12月	●「西京くだものの日」（第6回 柿）
12月	● 防災定期預金を販売 （販売期間　2023年12月1日～2024年1月31日） ● JICAの依頼による海外防災担当者へ防災活動の説明
1月	●「東京都よろず支援拠点」対面による経営相談会を開催
1･2月	●「西京くだものの日」（第7回 みかん）
2月	● 事業承継相談会開催
3月	●「さいきょうの防災説明会」4回実施

総代会

通常総代会

2024年6月13日 第75回通常総代会を西京信用金庫 本店7階集会室において開催、次の事項につきいずれも原案通り承認可決されました。

〔報告事項〕

第107期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

〔決議事項〕

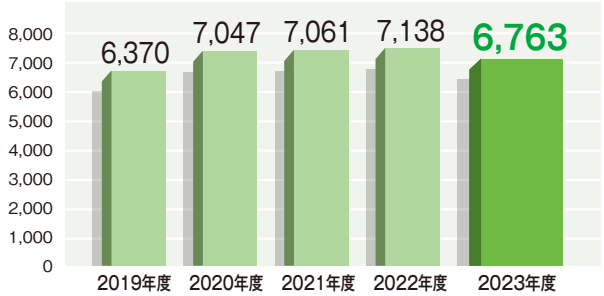
第1号議案　剰余金処分案承認の件
第2号議案　退任理事に対し退職慰労金贈呈の件
第3号議案　総代候補者選考委員2名選任の件
第4号議案　定款第15条に基づく会員除名の件

預金積金・貸出金の状況

預金積金残高

預金積金残高については、コロナ融資の返済等により、当金庫の預金となっている手元資金を取り崩した事が大きく影響し、2022年度に比べ374億円減少となり、6,763億円となりました。

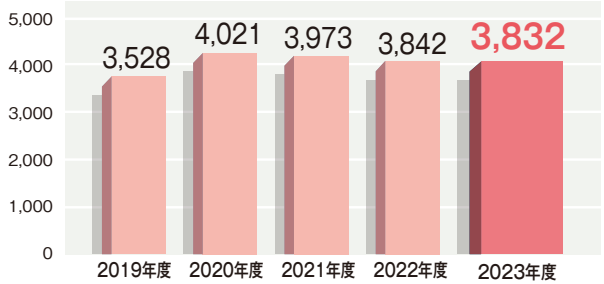
（単位：億円）



貸出金残高

貸出金残高については、地域の資金繰り支援に迅速かつ積極的に取り組みましたが、コロナ融資の返済が進んだことにより 2022年度に比べ10億円減少し、3,832億円となりました。

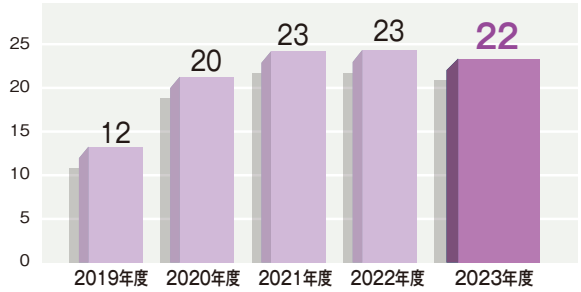
（単位：億円）



本業利益の推移

本業利益は22億円となり、2022年度に比べ1億円の減少となりました。

（単位：億円）

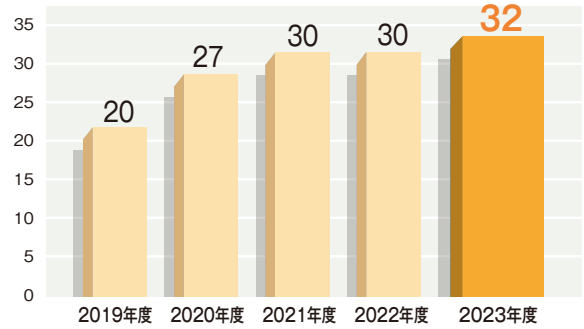


※本業利益＝
貸出金平残 × 預貸金利回差 ＋ 役務取引等利益 － 経費

コア業務純益の推移

コア業務純益は2022年度に比べ2億円増加し、32億円となりました。

（単位：億円）



※コア業務純益＝
業務純益 ＋ 一般貸倒引当金繰入額 － 国債等債券5勘定尻

自己資本比率の状況

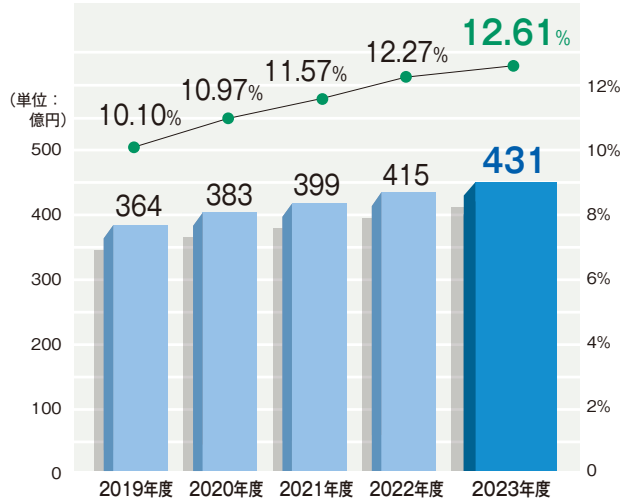
自己資本比率は、金融機関の経営の安全性、健全性を示す基本的な指標です。2023年度の自己資本比率は12.61%と国内基準である4%を大きく上回る高い水準を維持しております。今年度も着実に自己資本を積み上げ、十分な安全性を確保しております。

■自己資本比率

$$\frac{\text{自己資本額　431億円}}{\text{リスク・アセット等計　3,422億円}} \times 100 =$$

〈自己資本比率〉
12.61%

■自己資本比率と自己資本額の推移



不良債権の状況

2023年度の不良債権（信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権）は、2022年度に比べ2億円減少し、173億円となりました。不良債権比率は0.06ポイント低下し、4.52%となりました。このうち、回収が確実に見込まれる担保・保証及び貸倒引当金で160億円を保全（保全率92.78%）しており、貸倒リスクに対して十分な備えをしております。

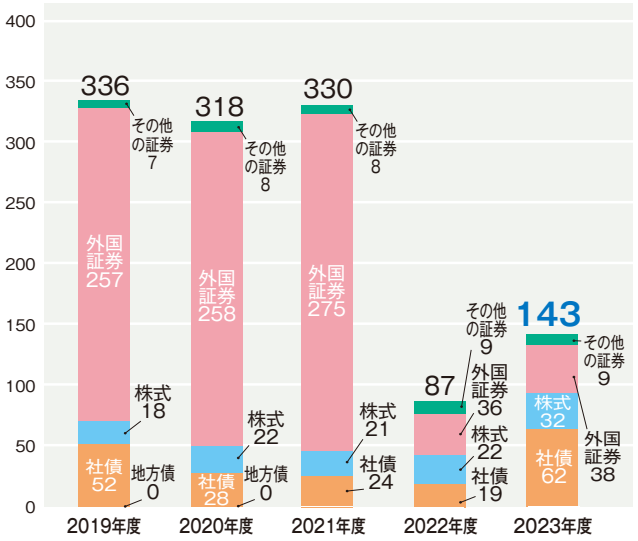
（単位：億円）

区分	2021年度	2022年度	2023年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	35	32	**33**
危険債権	143	141	**137**
要管理債権	1	2	**1**
三月以上延滞債権	0	1	**1**
貸出条件緩和債権	1	1	**0**
小　計 (A)	180	176	**173**
保全額 (B)	165	162	**160**
個別貸倒引当金 (C)	25	24	**23**
一般貸倒引当金 (D)	0	0	**0**
担保・保証等 (E)	139	138	**137**
保全率 (B)/(A)(%)	91.59%	92.40%	**92.78%**
引当率 ((C)+(D))/((A)−(E))(%)	63.08%	64.91%	**65.28%**
正常債権 (F)	3,798	3,670	**3,663**
総与信残高 (A)+(F)	3,979	3,847	**3,836**

有価証券の状況

有価証券残高は、2011年度末の2,316億円をピークとして政策的に圧縮し、市場リスクを大幅に回避しております。これにより、経済的ショックが発生したとしても影響を受けにくい財務構造となっております。

（単位：億円）



総代会制度について

1．総代会制度とは

信用金庫は会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人一人の意見を尊重し、経営に反映させる協同組織金融機関です。会員は、出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて信用金庫の経営に参加することとなります。しかし、会員数が大変多いため「総会」に代えて「総代会」を採用することが認められております。当金庫におきましては、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため「総代会」制度を採用しております。

この総代会は、決算の承認、理事・監事の選任、定款変更、会員の除名等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。そのため総代会は、総会と同様に会員一人一人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されております。

また、当金庫では総代会に限ることなく日頃の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

2．総代の任期・定数および選任方法

（1）総代の任期・定数

任期：３年

定数：120 人以上 150 人以内

（2）総代の選任方法

総代は会員の代表として、会員の意見を金庫の経営に反映させる重要な役割を担っております。そこで、総代の選考については、総代選任規程に基づき、下記の手順にて選任しております。

①会員の中から総代候補者選考委員を選任する。

・総代会の決議に基づき理事長が総代候補者選考委員を委嘱する。

・総代候補者選考委員の氏名を店頭掲示する。

②総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。

・総代候補者氏名を店頭掲示する。

③総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

・所定の手続きを経て会員の代表として総代を委嘱する。

【選任区域の会員数と総代数】　2024 年 3 月 31 日現在

区域	会員数	総代数	選任区域	区域	会員数	総代数	選任区域
第1区	2,722名	10名	新宿区	第7区	3,653名	10名	渋谷区、大田区、品川区、目黒区、世田谷区、江東区、墨田区、港　区、千代田区、中央区、江戸川区、葛飾区
第2区	8,819名	32名	練馬区				
第3区	6,240名	21名	中野区				
第4区	1,958名	6名	台東区、荒川区、足立区、文京区、豊島区				
第5区	3,895名	13名	杉並区、調布市、三鷹市、府中市、国分寺市、小金井市、武蔵野市	第8区	3,371名	12名	西東京市、小平市、清瀬市、東大和市、東村山市、東久留米市、新座市、所沢市、入間市、狭山市
第6区	4,044名	15名	板橋区、北　区、和光市、朝霞市、志木市	合　計	34,702名	119名	

貸借対照表

2024年3月31日現在

（単位：百万円）

科目	金額
（資産の部）	
現金	**5,314**
預け金	**305,169**
コールローン	**14,000**
有価証券	**14,398**
国債	－
地方債	－
社債	6,285
株式	3,276
その他の証券	4,836
貸出金	**383,213**
割引手形	1,547
手形貸付	28,695
証書貸付	351,280
当座貸越	1,690
外国為替	**8**
外国他店預け	8
その他資産	**5,955**
未決済為替貸	426
信金中金出資金	4,045
前払費用	35
未収収益	603
金融派生商品(資産)	3
その他の資産	841
有形固定資産	**12,777**
建物	3,948
土地	8,221
建設仮勘定	156
その他の有形固定資産	451
無形固定資産	**283**
ソフトウェア	3
その他の無形固定資産	280
前払年金費用	**370**
繰延税金資産	**462**
債務保証見返	**301**
貸倒引当金	**△3,449**
（うち個別貸倒引当金）	（△2,353）
資産の部合計	**738,807**

科目	金額
（負債の部）	
預金積金	**676,313**
当座預金	11,300
普通預金	295,190
貯蓄預金	1,780
通知預金	548
定期預金	353,105
定期積金	10,740
その他の預金	3,647
借用金	**8,822**
借入金	8,822
その他負債	**2,094**
未決済為替借	357
未払費用	253
給付補填備金	3
未払法人税等	818
前受収益	292
払戻未済金	9
職員預り金	27
金融派生商品(負債)	1
資産除去債務	52
その他の負債	277
賞与引当金	**144**
退職給付引当金	**1,332**
役員退職慰労引当金	**349**
睡眠預金払戻損失引当金	**187**
偶発損失引当金	**165**
再評価に係る繰延税金負債	**1,531**
債務保証	**301**
負債の部合計	**691,243**
（純資産の部）	
出資金	**2,530**
普通出資金	2,530
利益剰余金	**40,095**
利益準備金	2,546
その他利益剰余金	37,548
特別積立金	30,500
当期未処分剰余金	7,048
処分未済持分	**△4**
会員勘定合計	**42,621**
その他有価証券評価差額金	**1,401**
土地再評価差額金	**3,540**
評価・換算差額等合計	**4,942**
純資産の部合計	**47,564**
負債及び純資産の部合計	**738,807**

損益計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

（単位：千円）

科目	金額
経常収益	**8,571,612**
資金運用収益	**7,739,067**
貸出金利息	6,719,920
預け金利息	749,813
コールローン利息	55,592
有価証券利息配当金	135,763
その他の受入利息	77,978
役務取引等収益	**681,622**
受入為替手数料	289,504
その他の役務収益	392,117
その他業務収益	**27,643**
外国為替売買益	9,237
国債等債券売却益	470
その他の業務収益	17,935
その他経常収益	**123,279**
貸倒引当金戻入益	88,038
償却債権取立益	14,327
その他の経常収益	20,913
経常費用	**5,433,768**
資金調達費用	**172,448**
預金利息	142,151
給付補填備金繰入額	1,205
借用金利息	28,924
その他の支払利息	166
役務取引等費用	**259,232**
支払為替手数料	79,196
その他の役務費用	180,035
その他業務費用	**6,022**
その他の業務費用	6,022

科目	金額
経費	**4,782,779**
人件費	2,558,557
物件費	1,927,561
税金	296,660
その他経常費用	**213,286**
貸出金償却	1,136
その他資産償却	19,810
その他の経常費用	192,340
経常利益	**3,137,843**
特別利益	**－**
特別損失	**17,989**
固定資産処分損	17,876
減損損失	113
税引前当期純利益	**3,119,854**
法人税、住民税及び事業税	844,487
法人税等調整額	10,000
法人税等合計	**854,487**
当期純利益	**2,265,367**
繰越金(当期首残高)	**4,783,338**
当期未処分剰余金	**7,048,705**

剰余金処分計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

（単位：円）

科目		金額
当期未処分剰余金		**7,048,705,840**
積立金取崩額		**16,422,500**
利益準備金限度超過取崩額		16,422,500
合計		**7,065,128,340**
剰余金処分額		**1,050,610,036**
普通出資に対する配当金	（年2%）	50,610,036
特別積立金		1,000,000,000
繰越金（当期末残高）		**6,014,518,304**

貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書は、当金庫監事並びに太陽有限責任監査法人の監査を受け、いずれも適正であると認められております。

地域のお役に立てる金融機関を目指しています

企業支援・地域経済活性化への取り組み

当金庫は協同組織金融機関として、経営理念の一つである「豊かな地域社会の実現と中小企業の健全な発展に寄与する」ことを念頭に置いて、地域になくてはならない金庫を目指しております。

外部機関との連携

お客さま ⇔ 西京信用金庫 ⇔

筑波大学、工学院大学、東京富士大学
日本政策金融公庫
東京商工会議所、東京信用保証協会
東京都中小企業振興公社

地域経済情勢の変化に応じた事業者支援への取り組み

新型コロナウイルス感染症の拡大による景気の低迷から、社会経済活動は正常化に進みつつあり、事業者の実情に応じた経営改善、事業再生および事業承継などの支援について、事業者と面談し取り組んでおります。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への取り組み

当金庫では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関して、各自治体が作成した総合戦略推進の為、地域防災、制度融資、創業支援、商店街活性化などを中心に各市、区と協調し取り組んでおります。

年金無料相談会

社会保険労務士による年金無料相談会を開催しております。書面による相談のほか、店頭で WEB を通じての本部専担者とのご相談も可能です。

事業承継計画の策定支援

東京都の事業「地域金融機関による事業承継促進事業」の専門家派遣を通じて、事業承継を迎える事業者の方の事業承継計画の策定支援を行っております。

「東京都よろず支援拠点」個別相談の実施

売上拡大やWEB活用等の経営課題に対して、東京都よろず支援拠点の専門家による個別相談を随時行っております。

地域の防災力向上に向けた取り組み

当金庫は地域貢献の一環として、地元地域の活力を根こそぎ奪ってしまう大災害に備えて、災害に強い街づくりを目指し様々な取り組みを行っております。

防災対策の周知活動として、商店街や町会などの会合に参加させていただき、2024 年 3 月末日現在で 21,000 名を超える皆さまに防災対策説明会・まちゼミを実施しております。2023 年度におきましては、営業店での防災説明会を開催し、防災に向けた取り組み等の活動を行いました。

「防災対策融資商品」

当金庫の防災対策融資商品として東京都と連携した「金融機関提案融資『そなえ』」を販売しており、また「そなえ」と併用することで返済期間を延長し、毎月の返済負担額を軽減できる独自融資「そなえⅡ」も取り扱っております。

他にも 1981 年 5 月以前（旧耐震基準）の木造建築物を対象とした「耐震改修工事資金融資」など、お客さまの防災に対する様々なニーズにお応えし、また近年社会問題化している「空家等」対策問題にも対応する商品を取り揃えております。

「防災定期預金」

本商品は、販売総額に0.01％を乗じた相当額を当金庫が負担し、本部をはじめ拠点となる営業店に防災用品の備蓄をしております。

なお、備蓄している防災用品（大人用・子供用紙おむつ、簡易トイレ、生理用品など）は災害時に地域の皆さまにお配りさせていただきます。

▼ 備蓄風景（鷺宮支店）

さいきょうの防災説明会開催

西京信用金庫では、2014 年から防災説明会を様々な形式で開催しておりましたが、コロナ禍により、約 4 年の間、開催を自粛してまいりました。2024 年 1 月 1 日の能登半島地震を受け、改めて地域の皆さまに、「防災・減災」への関心を深めていただかなくてはならないとの思いから、2024 年 3 月より防災説明会を再開いたしました。

SDGｓ17 の目標のうちゴール 11「住み続けられるまちづくりを」に向けた取り組みとして、今後も地域の皆さまと共に「地域防災力向上に向けた取り組み」を継続していきたいと考えております。

JICA の依頼による海外防災担当者の迎え入れについて

当金庫は 2017 年 11 月より JICA（独立行政法人 国際協力機構）からの要請を受け、各国の大臣等の要人をはじめ、海外行政機関の防災責任者の方々に当金庫の地域防災力向上に向けた取り組みを紹介してまいりました。2023 年度は 12 月に海外防災担当者へ当金庫の防災活動の説明を行い、これにより、延べ 98 カ国、154 名の視察団の方々に当金庫の防災の取り組みについてご紹介させていただきました。

子ども食堂への果物寄贈

西京信用金庫では 2022 年 7 月から「西京くだものの日」という取り組みを実施しております。季節の果物を、当金庫とお取引のある地域の果物屋さんから購入し、近隣の子ども食堂に寄贈しています。

子ども達には「優しい大人が見守っているから安心して健やかに育ってほしい」という想いで果物を届けております。子ども食堂からは、「大きな房のままのバナナや、初めて見る一玉丸ごとのすいかに目を丸くして喜んでいます」などという声が届いております。今後も果物の寄贈を通して、子ども達の明るい笑顔を見守っていきたいと考えております。

▲ 西新宿支店　かしわぎ子ども食堂

▲ 野方支店　こども食堂バベット

新宿区中小企業支援ネットワーク会議の取り組み

2023 年 4 月 10 日に新宿区と当金庫を含む区内 6 金融機関による連携ネットワークを立ち上げ、区内中小企業者の創業、経営安定、事業承継などの課題に関する情報交換やノウハウを共有し、区内中小企業の活性化と地域経済の発展を目的として取り組みを開始しております。

2023 年 11 月 16 日には、新宿区役所 BIZ 新宿にて 6 金融機関合同による「創業セミナー」を開催しております。

本誌記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

地域に広がる“さいきょう”のネットワーク

― 2024年6月13日現在 ―

（阿佐谷支店以下50音順）

店舗名	店番号	所在地	電話番号
本店営業部	001	新宿区新宿4-3-20	03-3356-7111
八重洲口営業部	050	中央区八重洲2-11-3	03-6228-7177
阿佐谷支店	005	杉並区梅里2-18-10	03-3312-8111
池袋支店	003	豊島区西池袋1-44-1	03-3971-0291
江古田支店	029	練馬区栄町44-7	03-3993-7611
大泉支店	032	練馬区東大泉3-20-8	03-3921-1211
大山支店	006	板橋区大山町3-5	03-3956-4136
上井草支店	012	杉並区井草5-6-6	03-3395-2171
北町支店	030	練馬区北町1-30-4	03-3931-0131
清瀬支店	035	清瀬市松山1-5-4	042-492-5415
銀座支店	008	中央区八重洲2-11-3 （西京信用金庫 八重洲口営業部内）	03-6228-7177
鷺宮支店	031	中野区鷺宮4-44-10	03-3339-2221
雑司が谷支店	017	豊島区目白2-16-19	03-3982-5031
中野支店	002	中野区本町4-44-13	03-3383-2511
新座支店	038	新座市片山1-15-24	048-479-1183
西荻窪支店	026	杉並区西荻北3-16-6	03-3395-2611
西新宿支店	014	新宿区西新宿5-4-7	03-3374-4300
沼袋支店	016	中野区沼袋1-37-2	03-3387-8171
練馬支店	028	練馬区豊玉北5-14-3	03-3993-4311
野方支店	021	中野区野方6-31-10	03-3338-6111
蓮根支店	034	板橋区蓮根1-28-14	03-3960-4271
原宿支店	046	渋谷区神宮前3-23-5	03-6438-9731
東中野支店	010	中野区東中野3-8-9	03-3369-6151
氷川台支店	036	練馬区氷川台3-33-3	03-3937-0411
富士見台支店	011	練馬区富士見台2-1-14	03-3990-1161
保谷支店	033	西東京市東町3-11-26	042-421-4111
南中野支店	007	中野区弥生町4-24-1	03-3381-8176

※原宿支店は 2024 年 7 月 29 日より新店舗（渋谷区神宮前 2-32-3）に移転となります。

▶本部関係

本部	新宿区新宿4-3-20	03-3356-7121
営業店支援センター	練馬区氷川台3-33-3	03-6281-0779

※全店舗の ATM コーナーに「IC キャッシュカード対応 ATM」「通帳繰り越し ATM」「視覚障がい者用ハンドセット付 ATM」を設置しています。

●このご報告書は環境に優しい「植林紙」と「植物油インク」を使用しています。